

〈今月の紙面〉

- ・「食料・農業 知っておきたい話」—123—(2面)
- ・西谷さん(鳥根)牛乳消費者に感謝の想い(3面)
- ・一沖縄の戦後—八重山開拓を展示(4面)
- ・有機茶生産栽培技術カテログ公開(5面)
- ・中村さん(北海道)開拓の仲間と発表(6面)
- ・畜産物需給見直し(7面)
- ・アンケート募集(8面)

開拓情報

発行所
 公益社団法人全国開拓振興協会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10
 TEL 03-6268-9995
 FAX 03-6268-9996
 ホームページ http://www.kaitakusya.or.jp
 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

秋肥へ追加対策を実施

地域協議会の取り組みに助成

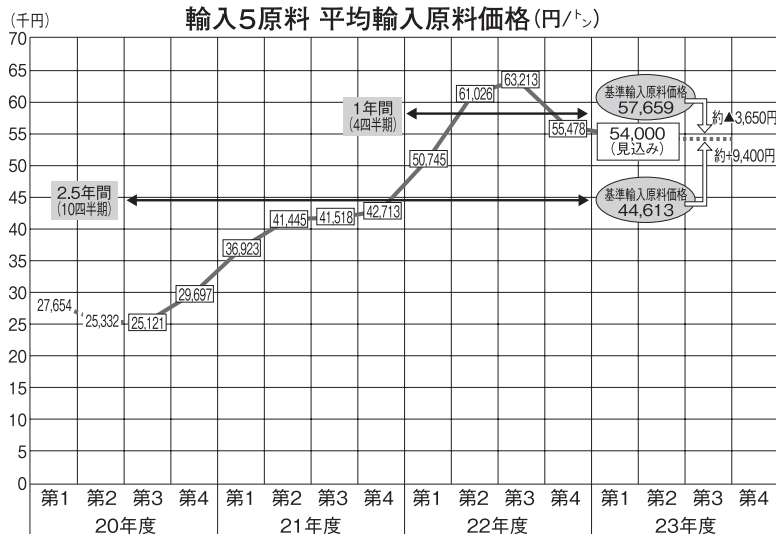
農水省は7月12日、肥料価格高騰対策事業の追加対策として「化学肥料低減定着対策事業」の実施を公表した。

これまで、22年6月から23年5月に購入した肥料を対象に、化学肥料低減の取り組みを行う生産者に対して、増加した肥料費の7割補助が行われてきたが、今年6月以降の秋肥に対しての対策は示されていない。

今回は、市町村等で構成される地域協議会に対して、化学肥料の使用量の2割低減に向けた取り組みの定着を図るための「地域の取り組み」に対して交付金を交付する。この取り組み内容、対象者等は地域協議会が地域の状況に応じて設定でき、採択された協議会には、取り組みに必要な掛かり増し経費の1/2(上限500万円)が交付される。

地域協議会が事業を申請するに当たっては地域の状況に応じて取り組み内容等を定めた「地域計画書」を作成する。新規で取り組み内容等を設定することが難しい場合は、あらかじめ国が示した基本的な取り組み(下の図参照)をそのまま設定することができ、この場合、都道府県協議会や国での地域計画書の審査が一部省略される。

本事業においては、6月1日以降に肥料などの農業資材を注文したり、堆肥散布の発注を行った場合を支援の対象とする。また、農業資材の納品や堆肥散布などは、来年3月末までに行われたものを対象とする。ただし、地域協議会において来年2月末までに取り組み実績の確認が必要となる。



新たな緊急補てん金制度(仮称)実施

配合飼料価格高止まりに対処

緊急補てん金(仮称)の交付財源

財源負担	通常補てん積立金	異常補てん積立金	緊急補てん交付金
	生産者会員(全国連・単協)	国基金(全国連会員)	国
通常価格差補てん金	○	—	—
異常価格差補てん金	○	○	—
緊急補てん金(仮称)	○	—	○

全国畜産配合飼料価格安定基金の資料より作成

(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金(仮称)を(以下、畜産基金)は6月29日、配合飼料価格安定基金制度において、配合飼料価格の高騰が

当該四半期の平均輸入原料価格と、直近1年間(4四半期)の基準輸入原料価格の差が補てん金交付限度額として計算される。しかし、価格の高止まりが1年以上続く現状では補てん金交付限度額が発生しないこととなるので、補てん金も出ないこととなる。

今回の緊急補てん金制度では、該当四半期と直近2・5年間(10四半期)の平均価格の差を補てん金交付限度額とするので、補てん金の発動が可能となる(図参照)。

緊急補てん金の仕組みは、畜産基金3・国の補助金(安定機構)2の割合でまかない、23年度第1・四半期から適用する。

緊急補てん金の上限設定は、対象四半期の交付単価の上限を、前四半期の交付単価(通常・異常・緊急)の75%とする。ただし、23年度第1・四半期に限り、前四半期の交付単価は94,500円/ト(22年度第4四半期交付単価95,000円+特別補てん金8,500円)とする。従って、23年度第1四半期の補てん金単価は75%で70,500円/トと見込まれる。

交付対象数量は、23年度第1・四半期の基金契約数の各四半期の基金契約数量を上限とする。

交付対象四半期は、最初の交付四半期を含めて連続する3・四半期までとする。②交付対象期間の2・四半期目、または3・四半期目の「平均輸入原料価格」が直前四半期の「平均輸入原料価格」の90%未満に下落した場合、当四半期は交付を行わず、四半期は交付を行わず、①の連続する3・四半期前に当交付対象期間を終了とする。

今回の補てん金制度は、全農基金、商系基金でも適用される予定。

牛乳・乳製品8月値上げ

大手乳業メーカー各社(この時は牛乳類ト1タルの販売個数が2・4%減少している)は、8月1日から牛乳・乳製品を値上げする方針だ。同日から飲用・はっ酵乳等向け乳価が値上げ(10円/キ)されることや、様々な生産コストが上昇したことによる。

牛乳類の値上げ率は1・13%ほどになるとみられる。また、内容量減で対応する製品もある。

昨年11月に乳価が上がった際にも牛乳の販売価格が16円ほど値上がりしている(3面に関連記

食料安全保障強化を前面に 22年度 食料・農業・農村白書

トピックス1 22年の農林水産物・食品の輸出額が過去最高を更新(前年比14・3%増)。

トピックス2 動き出した「みどりの食料システム戦略」。

トピックス3 スマート農業・農業DX(デジタルトランスフォーメーション)による成長産業化推進。

トピックス4 高病原性鳥インフルエンス及び豚熱への対応。

トピックス5 デジタル田園都市国家構想に基づく取り組みを推進。

トピックス6 生活困窮者や買い物難者等への食品アクセスの確保に向けた対応。

政府は5月26日、22年度の食料・農業・農村白書を閣議決定した。特集として「食料安全保障の強化に向けて」と題し、日本の農業が世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気候変動等の今日的課題への対応に迫られる中、将来にわたって国民に食料を安定的に供給していくための取り組みについて記述している。

特集「食料安全保障の強化に向けて」

麦や大豆、飼料作物、加工・業務用野菜等の海外依存の高い品目や、農業生産資材の国内生産の拡大等を効率的に進める。

国民一人一人の食料安全保障の確立を図ること重要。

全ての国民が健康的な食生活を送るための食品アクセスの改善に向けて取り組みを進めるとともに、適切な価格形成に向けたフードシステムの構築を推進。

農地の集積・集約化や農業経営の基盤強化、スマート農業、新品種の導入等によって安定した農業経営を育成し、生産性の向上を図ることが必要、としている。

22年度白書では特集の他に、6つのトピックスをあげている。

トピックス1 22年の農林水産物・食品の輸出額が過去最高を更新(前年比14・3%増)。

トピックス2 動き出した「みどりの食料システム戦略」。

トピックス3 スマート農業・農業DX(デジタルトランスフォーメーション)による成長産業化推進。

トピックス4 高病原性鳥インフルエンス及び豚熱への対応。

トピックス5 デジタル田園都市国家構想に基づく取り組みを推進。

トピックス6 生活困窮者や買い物難者等への食品アクセスの確保に向けた対応。

本紙は無償で提供しています。ご希望の方はお知らせ下さい。

農地バンクを使おう

農地集積率増加も目標に届かず



食料・農業 知っておきたい話 第123回
酪農政策・経営を牛の立場から見直す
 牛を大切にすることが生産性と持続性につながる

東京大学教授 鈴木宣弘氏

今回は「生き物を大切に、今度は牛処分して」というのは「2階に上げて究極の生産性と持続性につながる」ということとを確かめたいと思う。

牛は生き物である。牛を処分したら15万円支給するから全国で4万頭を処分しろ」というのが大問題である。しかも、酪農家の苦しみが続いている。不足と過剰への場当たり的な対応を要請され、酪農家が翻弄され、疲弊してきた歴史をもう繰り返してはならない。

「牛を処分したら15万円支給するから全国で4万頭を処分しろ」というのが大問題である。しかも、酪農家の苦しみが続いている。不足と過剰への場当たり的な対応を要請され、酪農家が翻弄され、疲弊してきた歴史をもう繰り返してはならない。

酪農家も苦しみを続けている。不足と過剰への場当たり的な対応を要請され、酪農家が翻弄され、疲弊してきた歴史をもう繰り返してはならない。

酪農家も苦しみを続けている。不足と過剰への場当たり的な対応を要請され、酪農家が翻弄され、疲弊してきた歴史をもう繰り返してはならない。

農水省は6月、22年度における担い手(認定農業者等)への農地集積の状況や農地中間管理機構(以下、農地バンク)の実績を公表した。

23年3月末の担い手への農地集積面積は21年度比1.4万歩増加し、そのシェアは59.5%となった。農地バンク創設以降担い手への農地集積率は上昇しているが、10年目を迎える23年度に80%という目標には届いていない。

農業人口が減少し、耕作放棄地が増加している現状で、農地を維持していくためには農地バンク事業が重要となる。ここで、改めて農地バンクを紹介する。

農地バンク事業は、都道府県知事が指定する農地バンクが、地域計画(目標地図)に位置付けた受け手に対して、農地を貸し出す形であり、農地を貸す側は増加しているが、受け手の数が追いついていない。

農地を増やしたい人や、新規に農業を始めた人たちが増えるようになるためにも、農地バンクの活用が期待される。

農地バンクによるメリット

☆出し手のメリット

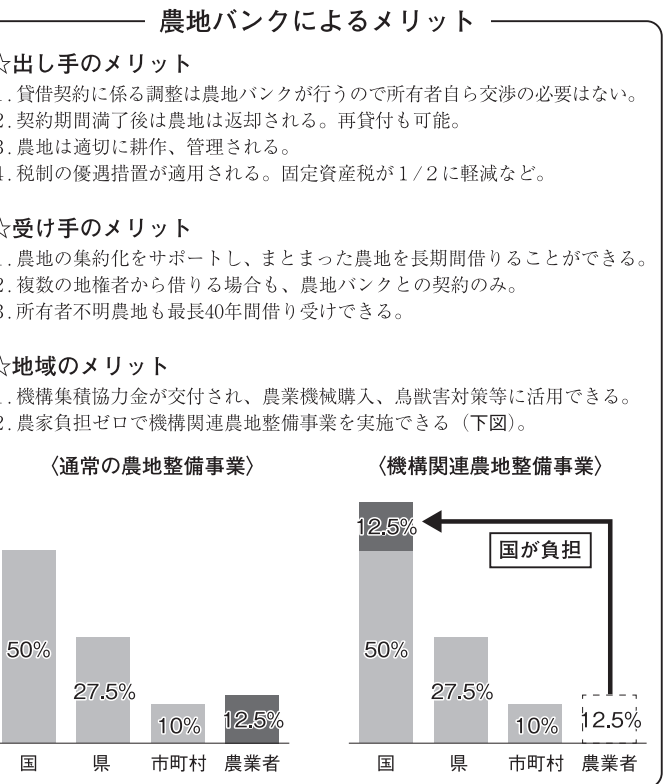
1. 貸借契約に係る調整は農地バンクが行うので所有者自ら交渉の必要はない。
2. 契約期間満了後は農地は返却される。再貸付も可能。
3. 農地は適切に耕作、管理される。
4. 税制の優遇措置が適用される。固定資産税が1/2に軽減など。

☆受け手のメリット

1. 農地の集約化をサポートし、まとまった農地を長期間借りることができる。
2. 複数の地権者から借りる場合も、農地バンクとの契約のみ。
3. 所有者不明農地も最長40年間借り受けできる。

☆地域のメリット

1. 機構集積協力が交付され、農業機械購入、鳥獣害対策等に活用できる。
2. 農家負担ゼロで機構関連農地整備事業を実施できる(下図)。



人・農地プランから地域計画へ
 地域計画策定マニュアル公表

農業経営基盤強化促進法の改正法が23年4月1日に施行された。

人・農地プランを法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化を進めることを目的としている。

地域計画策定・実行までの流れを示している。協議の場を設置するに当たって、集落の代表者、担い手、農地所有者、若年者や女性など幅広く関係者に参加してもらう。また、コーディネーター力のある専門家の活用も推奨している。

協議事項として、当該地区における農業の将来の在り方、農業上の利用が行われる農用地等の区域、その他農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項などをあげている。

も増やし、フードバンクや子供食堂にも届け、海外支援にも活用すれば、消費者も、生産者も、牛も、皆が助かり、食料危機にも備えられる。欧米では当たり前の政策を、日本だけが廃止してしまっただけは大きい。

牛にも人にも環境にも優しい経営が究極的には生産効率が高まる健康な牛とは何か。人間だけでなく、この世に生を受けたものすべてに共通することとして、快りにも悲しくはないか。適に天寿を全うできることが「健康」の意味ではないかと思う。筆者はビジネスとしての、背に腹は代えられぬ酪農家の経営選択を否定するものではない。酪農家が生き延びていくためには、経営の効率化が不可欠である。そのためには牛の立場から考えるような余裕はないかもしれない。牛のことはかなり思いついて経営が倒産したのでは元も子もない。

しかし、ひとたび牛の立場に立ってみると、なかなか考えさせられてしまう。牛は効率的に牛乳を生産するための道具ではない。十分な運動がでず、搾られるだけ搾って出が悪くなったなら、3産でと殺されてしまうのでは、牛の一生はあまりにも悲しくはないか。

肉牛の場合は肉にするのが目的だから、そんなことも言っていられないかもしれないが、牛乳生産の場合は、可能な限り長生きしてもらうことは不可能ではない。

牛が十分に運動できる放牧スペースがないのに

頭数を増加すると、牛が快適でないだけでなく、ふん尿の過投入で硝酸態窒素の多い牧草となり、牛が酸欠症でバタリと倒れて死亡してしまう。これは「ポックリ病」とも呼ばれ、平均100頭程度死亡しているとの統計もある(西尾道徳「農業と環境汚染」農山漁村文化協会、05年)。

そして、RBST(遺伝子組み換え牛成長ホルモン)は、牛を「全力疾走させてヘトヘトにさせながら」乳量アップの効率を追求しようとする技術の代表格であるが、絶対に大丈夫だと言われているにもかかわらず、牛乳中のIGF-1(インスリン様成長因子1)の増加により人間に前立腺ガンや乳ガンの発症率が高まるなどのデータが明らかになってきた。日本では認可されていないが、認可されている米国など乳製品が素通りで日本に入ってきて国民はそれを摂取している。

結局、牛に無理をさせることによつて、そのツケは人にも波及してきているのである。BSE(牛海綿状脳症)もまた、そうであった。牛乳の成分を高めるために、通常ながら、6頭程度の少頭数飼いで濃厚飼料は使わず、生活を人為的に変更してしまったツケといえなく全うするように育て、生乳はすべて自家で加工し、低温殺菌乳の宅配、ホテルとの契約、チーズ(7種類)とヨーグルト、お菓子の売店とネット販売で生計を立てている酪農家もある。さらには、代用乳は与えずに母乳で育て、牛が19歳で老衰で死ぬまで牛との生活を楽

かになってきた。日本では認可されていないが、認可されている米国など乳製品が素通りで日本に入ってきて国民はそれを摂取している。

結局、牛に無理をさせることによつて、そのツケは人にも波及してきているのである。BSE(牛海綿状脳症)もまた、そうであった。牛乳の成分を高めるために、通常ながら、6頭程度の少頭数飼いで濃厚飼料は使わず、生活を人為的に変更してしまったツケといえなく全うするように育て、生乳はすべて自家で加工し、低温殺菌乳の宅配、ホテルとの契約、チーズ(7種類)とヨーグルト、お菓子の売店とネット販売で生計を立てている酪農家もある。さらには、代用乳は与えずに母乳で育て、牛が19歳で老衰で死ぬまで牛との生活を楽

に、生産過程が環境にも生き物にも優しいことが求められる。動物にも人にも優しい環境を創ることが高い生産性を得る唯一の方法なのである(酪農コンサルタントの菊地実先生流を示している)。

協議の場を設置するに当たって、集落の代表者、担い手、農地所有者、若年者や女性など幅広く関係者に参加してもらう。また、コーディネーター力のある専門家の活用も推奨している。

協議事項として、当該地区における農業の将来の在り方、農業上の利用が行われる農用地等の区域、その他農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項などをあげている。

で儲かって何になるか、というところになる。業界としても、仮に目先の利益にはなっても、全責で「泥船に乗って沈んでいくようなもの」である。つまり、長期的には、本当の意味での経営効率を追求したことにほならないわけである。

我が国においても、かなり特別な経営ではあるが、6頭程度の少頭数飼いで濃厚飼料は使わず、生活を人為的に変更してしまつたツケといえなく全うするように育て、生乳はすべて自家で加工し、低温殺菌乳の宅配、ホテルとの契約、チーズ(7種類)とヨーグルト、お菓子の売店とネット販売で生計を立てている酪農家もある。さらには、代用乳は与えずに母乳で育て、牛が19歳で老衰で死ぬまで牛との生活を楽

しみ、その生き方に共鳴した消費者が支えとなっている経営もある。農業、酪農・畜産の営みというのは、健全な国土環境と国民の心身を守り育むという、大きな社会的使命を担っている。本当の意味での「強い酪農・畜産」を自分達力で築くこと、それは単純に規模拡大にコストダウンでは実現できない。「少々高くてもモノが違うから、あなたのものしか食べたくない」という消費

者との信頼関係こそが、本当に強い酪農・畜産を実現する。スイスのように、生産過程が環境にも生き物にも優しいことが求められる。動物にも人にも優しい環境を創ることが高い生産性を得る唯一の方法なのである(酪農コンサルタントの菊地実先生流を示している)。

は、経営効率と矛盾しない。牛にも人にも環境にも優しい経営が究極的には生産効率が高まるのである。牛を酷使するのでなく、牛の健康を大切にすることが、一番生産性を高めることだが、一歩生産性を高め、経営の持続につながることを忘れてはならない(注)。

(注) 家畜にとつて理想の環境は次の3つである。「外気と同じ品質の空気」「草原と同じ機能を持った牛床」「食う、飲む、横臥の自由。我々に必要な考え方は、理想に近づける」である。理想に近づいた程度と家畜の健康度はパラレルの関係にある。動物にも人にも優しい環境を創ることが高い生産性を得る唯一の方法なのである(酪農コンサルタントの菊地実先生流を示している)。

西谷さん牛乳消費者に感謝の想い 酪農を次世代につなぐメッセージ

島根

6月の牛乳月間に合わせ、島根県でも「島根の牛乳キャンペーン」が行われた。戦後開拓酪農家の西谷悟郎さん(三瓶開拓酪農協組合長/全国開拓振興協会会長)が消費者に感謝のメッセージを送った。戦後の苦難の時代を乗り越え、次世代に経営を託した開拓一世の想いを受け継いだ悟郎さんの熱い想いは、牛乳の消費者のみならず、全国の若い酪農同志にも届いている。

悟郎さんが寄せたメッセージ

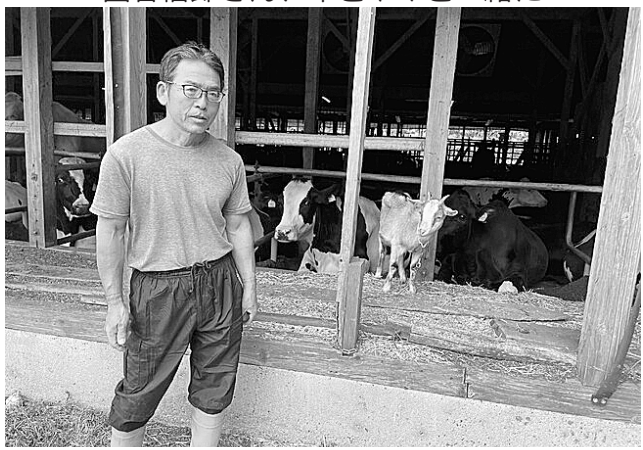
私は、島根県の山里で酪農を営んでいま

毎日牛たちとも生活しています。毎乳を搾らせてもらって日牛たちから牛乳をもらって生活の糧としています。

牛乳を出してくれる牛たちは、みんなお産を経験したお母さんです。模様も、白っぽい

昔から連続と続けてきたこの仕事、毎日朝晩休みなく誰かが牛乳を搾り続けて繋いできたこの仕事、

写真提供：島根県乳業協会



私はこの仕事が好きです。牛たちの一生を見つめ、家族のひとりとして飼育しています。そして、こんな状況でも動物が好き、牛が好きで、職業として酪農を選択する私達と同じような若者はきつ

今このときに、酪農を支えてくださる皆さんにありがとうと伝えたい。そして、おいしい牛乳を、愛情をこめて皆さんにお届けします。そして牛たちや、未来の酪農家たちに代わり感謝を申し上げます。

地域にとても地元で生産された新鮮でおいしい安全な牛乳と酪農場は不可欠な存在です。食料生産は永遠に無くすることができない仕事です。地域から産業が無くなるのはありえないですが、それを復活させるのは大変なことです。

これからも牛が好き、酪農をやりたい人達を取り組めるような環境を作るためにも、どうかこれからも1mlでも多く地元の牛乳を手にとってください。未来の牛が好きな若者たちに牧場を繋いでいく手助けとしていただければ、大変うれしく思います。

親の7割が「休日も牛乳飲んで」 「うちの子は牛乳が好き」と回答76%

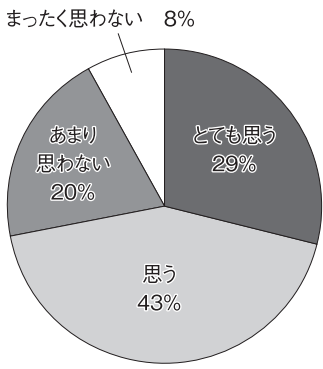
「(一社)Jミルクは5月30日、「学校給食利用世帯の親から子どもへの休みの日の牛乳飲用促進について」の動向調査の結果を公表した。調査日は23年7月24〜26日で、対象者は給食利用児童がいる家庭の両親1,225人(30〜54歳男女)。

「休日や長期休暇(夏休みなど)に子どもに牛乳を飲んで欲しいと思うか」との問いに、「とても思う」29%、「思う」43%と、飲んで欲しいと思う親が7割強だった(図)。

親の性年代構成でみると、「とても思う」と答えた人の中で、一番多かったのは40代母で33.2%。一方、「思わない」と答えた人の中で一番多かったのは40代父で31.3%だった。学校に通う子の親が40代が多いという点もあるが、40代をターゲットに販売促進をかけるのも有効だと思われる。

「休日や長期休暇(夏休みなど)に、あなたは子供に牛乳を飲んで欲しいとどれくらい思いますか」という問いに、回答した人の割合は、40代をターゲットに販売促進をかけるのも有効だと思われる。

「休日や長期休暇(夏休みなど)に、あなたは子供に牛乳を飲んで欲しいとどれくらい思いますか」という問いに、回答した人の割合は、40代をターゲットに販売促進をかけるのも有効だと思われる。



Jミルクの資料から作成

6月19〜25日の牛乳類販売状況

品名	販売個数	販売価格/個(円)	
		前年同期比	22.10.24週との価格差
トータル	97.6%	207.2	16.7
牛乳	94.2%	207.2	16.9
成分調整牛乳	82.2%	193.2	19.3
加工乳	88.3%	210.3	19.4
乳飲料	94.9%	164.0	14.1

Jミルクの資料より作成

牛乳類値上げで販売個数減

Jミルクが公表した需給短信によると、6月19日の週の牛乳類販売個数が前週比で、全ての牛乳類が減少している(表)。

「休日に牛乳を飲むよ」

うに促すことがどれくらいありますか」という問いに、「よくある」9.7%「ある」18.1%と

初的女性理事に熊倉貴子氏
栃木県開拓農協は4月25日、第54回通常総会で役員改選が行われ、新理事の1人として熊倉貴子氏が選任された。当農協で女性理事が選任されたのは初めて。

熊倉理事は、酪農経営で、乳肉一貫生産事業推進協議会副会長を歴任している。

全開連人事

(7月1日付)

▽管理部次長(管理部付) 岩手花平農協(出向) 青木正太郎▽管理部付(岩手花平農協出向) 岩手花平農協(出向) 本支所東京事業所支所長(代理) 北田学史▽管理部(新規) 富田由香▽管理部電算室(兼) 東日本支所(新規) 室橋来実▽管理部電算室(兼) 西日本支所(新規) 田端紗香

開拓の碑

満州の悲劇から銘茶産地へ

鹿児島県錦江町・盤山開拓

鹿児島県肝属郡錦江町田代麓の盤山開拓は、大隅半島南部の山あい(標高500m)に位置する。46年7月に入植してきた戦前から与論島は人口

たのは、与論島から満州に渡り、戦後に命がけで日本に戻ってきた54戸、165名だった。

過密で、44年3月に満州へ入植したが、わずか1年5ヵ月で終戦を迎えた。その頃、開拓団の若い男性たちは戦場に召集されたり、残っていたのは高齢者や女性、子どものみ。日本の敗戦を知った地元の住民が土地を奪われた恨みから暴徒化し、逃げ場を失った50人もの人たちは自決を余儀なくされた。その後、46年6月に博多に引き揚げ

開拓地名は、多数の同胞が犠牲になった満州の地「盤山」を忘れないようにと決まった。

このお茶が盤山開拓の救世主となった。57年に新産種「やぶきた」を導入し、盤山茶業振興会を結成。営農指導員に技術を教わり、62年に全国共



進会で2等を受賞するなど、品質の良さを実感した。この土地は平均気温は低い、霜も降りにくい。霧がかりやすい条件も品質に優れた茶の生育に適していた。60〜70年代、開拓地総出で栽培面積拡大に取り組み、銘茶産地としての地位を確立した。

69年に第一の故郷与論町と田代町(現錦江町)が姉妹協約を締結し、現在も交流が続いている。81年に入植35周年を迎え、公民館に公園を整備し、記念碑(写真)と慰霊碑が建てられた。

沖縄の戦後―八重山開拓を展示

23年度企画展「戦後 人々の移動とコザ」

終戦後の混乱を極めたように戦後開拓が行われ状況の中で、米軍の統治... 下に置かれながらも、日 戦後を生き抜くため開本への復帰を願いなが 拓に動しんだ沖縄の人々、沖縄でも他県と同じの歴史が、沖縄市戦後文



見学中の来館者の様子



展示の様子

写真提供：2枚ともに沖縄市役所総務課市史編集担当

おり、その半数を超える 諮問会」が発足。米軍統治下にある沖縄の、県民料問題など様々な課題を沖縄県にもたらした。県内はどの村も人々が溢れ内はどの村も人々が溢れ内はどの村も人々が溢れ内はどの村も人々が溢れ

移民」が八重山開拓を開 移民」が八重山開拓を開 移民」が八重山開拓を開 移民」が八重山開拓を開 移民」が八重山開拓を開

▼「自由移民」と「計 画移民」、マリアとの 闘い 県内の生存者は約30万人のみだったといわれて 45年8月20日に「沖縄 闘い

その後、琉球政府によ る「計画移民」が52〜57 年によやく始動。八重 山開拓には、沖縄市から 抜けるよう必死に取り組 んだ開拓者たちがいた。

中嶋夫妻、テレビ番組に出演

受け継いだ開拓の歴史語る

22年8月にテレビ東京 の「なぜそこ？」で紹介 された戦後開拓農家の中 嶋夫妻を紹介する。

中嶋家の戦後開拓の歴 史は、妙子さん(番組放 送当時65歳)の父・常資 さん(故人)が戦後、戦 地からの帰国後に仕事

も映らぬ広島の端っこで 番組で紹介された一軒 家は「広島県の山奥の行 き止まり」で、鳥取県と 広島県の県境にある。最 も近い「小鳥原集落」か ら一山越えた、広島県の 県有林との境、まさに行 き止まりの地。この广大 な土地で、開拓1世から

奥内の別の土地に暮らし 暮らす地に移住。手つか ずの土地を一から開拓。 計を立てることができ

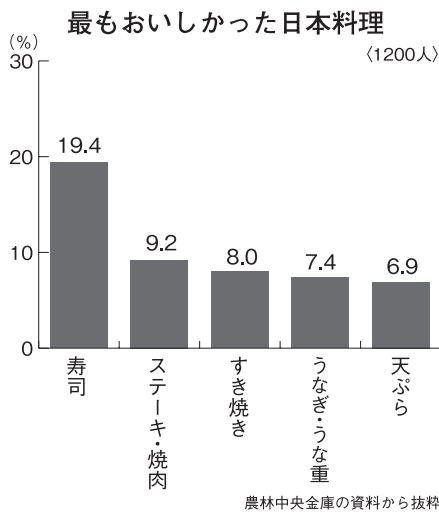
番組で紹介された中嶋夫妻 左から妙子さん、康憲さん



写真提供：中嶋夫妻 (撮影は息子さん)

寿司トップも牛肉料理健闘 訪日外国人の日本食意識調査

農林中央金庫は4月27 日、「訪日外国人からみ た日本の「食」に関する 調査」の結果を公表した。 ここ10年で日本に滞在し たことのある5カ国(ア メリカ、イギリス、フラ ンス、中国、韓国)の20 歳以上の男女1200人 から回答を得た。



アルストロメリア増加 生産力維持が課題

花き統計



は、魚(マグロ、サバ、 カツオ、イワシ)が17. 4%と最も高く、次いで 牛肉が9.3%、お酒が 8.6%だった。

農水省が6月20日に公 表した「22年産花きの作 付(収穫)面積及び出荷 量」によると、切り花類 は、作付面積・出荷量と もに減少している。

一人娘の妙子さん(結 婚当時21歳)の元に康憲 さん(結婚当時29歳)が 婿入りし結婚。康憲さん (番組放送当時73歳)は 建設業の仕事、妙子さん は農協職員として働きな がら、両親は開拓農家と して農業に勤しみ、夫妻 は3人の子どもたちを育 び上げた。

個別の品目では、出荷 量はアルストロメリアと 切り枝以外の全てで減 少。アルストロメリアは、 長野県が県の花として生 産に力を入れたため、作 付面積は1畝増、出荷量 は60万本増となった。 切り花類の生産力の維 持が課題となっている。

有機茶生産栽培技術カタログを公開

防除や品質向上技術など紹介

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所(甲賀市)は、「オーガニック茶生産のための栽培技術カタログ」を作成、公開した。同所は、味や香りのよい有機栽培茶を安定して生産するための栽培技術を試験研究してきた。その研究成果の中から、生産現場で活用できる8つの技術について、内容や効果が一目でわかるようにカタログとして取りまとめた。

病害虫の被害抑制や品質を良くするための施肥方法などの技術が掲載されている。カタログは同所のホームページ(<https://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/about/gaiyou/103375.html>)またはQRコードより接続)からダウンロードすることができる。こ



スマートフォンをお持ちの方はこちらから



試験の様子 (左:ほ場全景 右:うね間土壌にかん水した様子)

ここでは、カタログの中から「有機質肥料の肥効を高める春期の土壌水分管理」について紹介する。

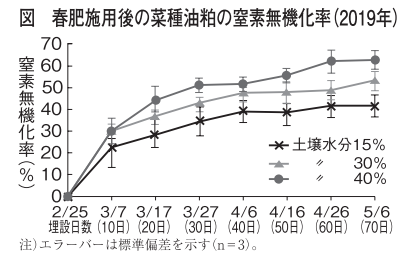
—背景—
主な輸出先であるEUや米国では有機栽培茶が求められており、旨味の強い(=全窒素含量の高い)高品質茶のニーズが高まっている。一番茶芽への窒素の寄与は、春期の施肥窒素が最も高いことが知られている。しかし、この時期は有機質肥料の場合、地温が低いいため無機化が穏やかで、茶樹が効果的に吸収利用することが難しい。そこ

で、有機質肥料の無機化を促進し春期の肥効を高める方法として、施肥を行ううね間土壌の水分管理について試験を行った。

—方法—
試験は、土壌水分15%、30%、40%の3区を設け、土壌水分による窒素無機化率の違いを調べた。有機質肥料には菜種油粕を用いた。

—結果—
菜種油粕の窒素無機化は、土壌水分(深さ0-10cm)を高く維持した方が速まり、春肥施用20日後には窒素無機化率に差が見られた。以後、この傾向は一番茶摘採まで続いたため、土壌水分を高く維持した場合、窒素無機化は一番茶摘採の時期にほぼ終了した(図)。春期に土壌水分を高く維持すると、摘芽長が長くなり百芽重や芽数が増加し、一番茶は増収。土壌水分を高くした効果は二番茶芽にも現れ、二番茶も増収となった(表)。

土壌水分の違いによる地温(深さ10



cm)の差はわずかで、地温変化が菜種油粕の窒素無機化に与える影響はほとんどなかった。また、茶の旨味の指標となる全窒素含量は、一番茶では土壌水分を高く維持すると高くなることも判明した。

—成果の留意点—
同所は、土壌水分を高く維持した場合、一番茶摘採期までに菜種油粕の窒素無機化が終了し、二番茶の全窒素含量が低くなるため、一番茶摘採後に菜種油粕などで追肥(10kg-N/10a程度)を行う必要があるとしている。また、深さ10cmまでのうね間の土壌水分を10%上げるには、土壌の種類によって10a当たり1000~1300ℓのかん水が必要となる。

表 一番茶および二番茶の全窒素含量および収量(2019年)

土壌水分	一番茶			二番茶		
	全窒素含量 (%D. B.)	生葉収量 (kg10a ⁻¹)	乾物収量 (kg10a ⁻¹)	全窒素含量 (%D. B.)	生葉収量 (kg10a ⁻¹)	乾物収量 (kg10a ⁻¹)
15%	4.78±0.11 ^a	321±43 ^b	87±11 ^b	4.35±0.26 ^a	334±4 ^a	77±2 ^c
30%	4.72±0.15 ^b	369±21 ^b	98±5 ^b	3.85±0.10 ^b	481±54 ^a	116±13 ^b
40%	4.99±0.05 ^a	510±29 ^a	125±8 ^a	3.88±0.24 ^a	587±26 ^a	141±11 ^a

注) 摘採日: 一番茶2019年5月4日、二番茶6月26日データは20×20cm枠採み調査によるもの。数値は平均値±標準偏差(n=4)。REGWQ法により英文字が同じ場合5%水準で有意差がないことを示す。図表は滋賀県農業技術振興センター茶業指導所の資料から

収穫量11%減、面積は2%減 22年産ミカン統計調査

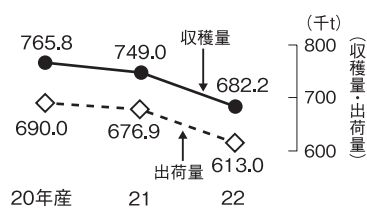


農水省は5月17日、「22年産ミカンの結果樹面積、収穫量及び出荷量」を公表した。なお、ミカンは果実数が多くなる年(表年)と少なくなる年(裏年)が交互に発生するため、数値は20年産と比べている。

収穫量は8万3600t(11%)減少し、68万2200t。出荷量は、7万7000t(11%)減少し61万3000tとなった。

10a当たり収量は150kg(7%)下回り、1880kgだった。天候に恵まれて着果数や結果数が多かった20年産に比べると、21年の高温などで樹勢が低下し、

ミカンの収穫量及び出荷量の推移(全国)



22年産の着果数と結果数が減少したためである。

結果樹面積は3万6200haで、前年産に比べ800ha(2%)減少、20年産からは1600ha(4%)減少した。生産者の高齢化などの労力事情による廃園などが続いていることが影響した。

品種別の収穫量割合は、「早生温州」が約6割を占めている。都道府県別の収穫量割合は、和歌山県22%、愛媛県16%、静岡県15%、熊本県11%、長崎県6%で、この5県で全国の7割を占めている。

収穫量11%増、面積は1%減 22年産リンゴ統計調査

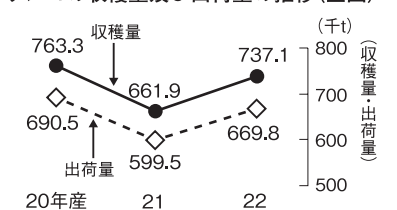


農水省は5月17日、「22年産リンゴの結果樹面積、収穫量及び出荷量」を公表した。

収穫量は前年産に比べ7万5200t(11%)増加し73万7100t。出荷量は7万300t(12%)増加し66万9800t。

10a当たり収量は前年産より220kg(12%)上回り、2100kgだった。青森県、長野県などでおおむね天候に恵ま

リンゴの収穫量及び出荷量の推移(全国)



れ、着果数が十分に確保され順調に生育したことから、作柄の悪かった前年産を上回ったためである。結果樹面積は前年産より200ha(1%)減少し、3万5100haだった。

品種別に見た収穫量割合は、「ふじ」が約5割を占めている。都道府県別の収穫量割合は、青森県が60%、長野県が18%、岩手県が6%となっており、3県で全国の約8割を占めている。

昨今、フリーマーケットサイト上で無断増殖したものとみられる登録品種のサツマイモ苗が多数出品され、実際に取り引きされている様子が見受けられる。農水大臣の記者会見でも話題となり、報道関係者に対してこの問題を取り上げて欲しいとの発言があるなど、問題となっている。これを受け、農水省は6月19日に注意を呼びかけるサイトを開設した。

そのタネ、ほんとに大丈夫？ 無断増殖の種苗に注意



同サイトでは、種苗法に基づく種苗の増殖と売買についてQ&A形式で解説している。種苗法では、育成者権を保有している人から許諾を得ずに登録品種の種苗を増殖・販売などをする行為を禁じている。同サイトによると、フリマサイトで販売されているサツマ

イモなどの苗については、種苗店などから正規購入したウイルスフリー苗を転売しているわけではなく、家庭菜園等で無断増殖したものと疑われる。

こうした苗を定植した場合、自身のほ場で基腐病などの病害虫がまん延するだけでなく、近隣農地へも拡散する

恐れがある。また、無断増殖された種苗を購入し利用することは、育成者権の侵害による高額な損害賠償請求の対象となる可能性があり、リスクが大きいとしている。

同サイトには、「そのタネ、ほんとに大丈夫？」と検索するか、下記URLからアクセスすることができる。https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syubuyouhou/tane_matte.html

初代のチヅエさんと昭夫さん



牛の世話をする由美子さん



先月号で紹介した「GT(グリーン・ツーリズム)協議会」では複数の開拓農家が活動している。講座で発表を行った、副会長の中村由美子さん(67歳)と中村牧場を紹介する。

◇中村牧場の歴史

中村牧場は、由美子さんの父・昭夫さん(92歳)が2年間の実習の後51~52年頃に、母・チヅエさん(90歳)も52(昭和27)年に「駒里開拓」に入植してスタート。夫妻とも香川県出身で、

輝く女性 次代に着実に経営移譲し活躍 農業者 中村さん(北海道)開拓の仲間と発表



昭夫さんは香川県、チヅエさんは旧満州から引き揚げての入植だった。千歳市には研修後に入植した開拓者が多いという。

由美子さんは79年、夫・治雄さんと経営に参加。90年、昭夫さんの60歳を機に経営移譲。13年に治雄さんと死別後、由美子さんが継承した。21年に息子の雄さん(33歳)に経営移譲。由美子さんは朝晩の搾乳、昭夫さんは子牛の育成と、3人体制で経営を行っている。

◇牧場の現在・大活躍の由美子さん

現在は、搾乳牛約40頭、育成牛約20頭の約60頭を飼養。26haの草地で、オーツヘイ、チモシーを主体に栽培。生乳の衛生品質が高い評価を得ており、昨年も「21年度石狩地方衛生的乳質共励会」で最優秀賞を受賞。生乳品質の競争率が高い地域で健闘を続ける。

由美子さんはGT協議会の副会長の

傍ら、駒里農協の理事、農協直営のそば屋「駒そば亭」の店長、千歳市農業委員を兼任。また、約50aの畑でトウモロコシ、トマトなど20品目の野菜を生産。直売・全国配送を行っており、多忙を極める。

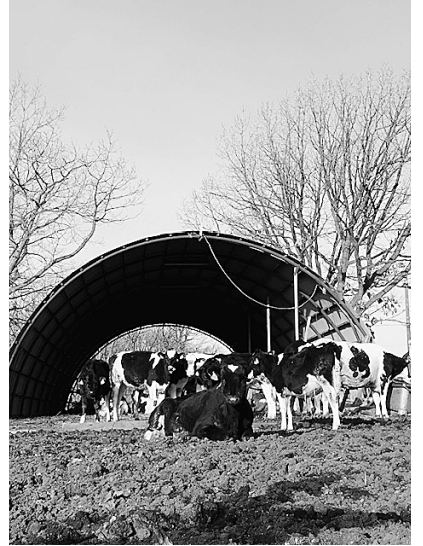
◇PR尽力、国に直接補償訴え

由美子さんは千歳市のYouTubeチャンネルなど、様々なSNSにも積極的に出演。千歳市の団体の講習会にも参加し、料理の紹介では必ず牛乳を使い、「飲む」だけでなく「食べる」牛乳の摂り方を発信し続けている。

GT協議会も、コロナ禍の規制が緩和されつつある中、農家同士の見学や情報交換、バス旅行の再開を目指す。また、収穫した野菜を使った弁当の提供や加工体験、花き農家の花を使ったハーバリウムの作成など、コロナ禍前の活動を再開すべく模索中だ。

酪農では「生まれた子牛をとにかく死なせない」「基本を忠実に徹底」がモットー。未曾有の厳しい状況に「他国のように直接補償が必要。消費者の所得が上がり乳価を上げても、この窮状に消費者も生産者も耐えられない」と訴えた。現状を何とか乗り越え、古い施設に修繕を加えつつ、しっかり

中村牧場の運動場での牛たち



テッターで牧草作業をする雄さん



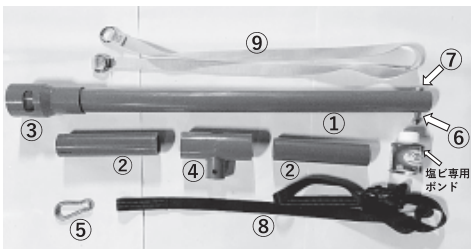
写真提供：4枚全て中村由美子さん

と次世代に経営を渡していくことが目標だという。

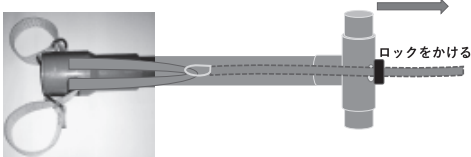
消費者に引き続き「牛乳を飲む!食べる!」をお願いしたいと語りつつ、由美子さんは毎日忙しく、出来ることに1つ1つ、精力的に取り組んでいる。

安価な子宮捻転棒が自作可能に 分娩事故減少の一助に

(写真) 捻転棒の材料



(図) 捻転棒



牛の出産では、しばしば子宮捻転など問題が起きることがある。

捻転が起きていた時にはまず胎子回転法を試みるが、技術と腕力が必要となる。NOSA I北海道石狩支所南部家畜診療所は、以前から使用していた手作りの整復棒に改良を加え、より使いやすく、販売品よりも安価にコストを抑えて作製する方法を考案した。

作製方法：材料は、①塩ビパイプ②同規格のパイプ2本、③掃除口付きソケット④T字継手⑤フック⑥ボルト⑦

ナット⑧2mの荷締めベルト⑨産科バンドを使用する。

パイプの先に、側面に穴を開けた③をボンドで固定。反対は、中央に穴を開けた④を、通し穴を開けボルトで固定。図のように荷締めベルトを通す。販売品は高価だが、この捻転棒はホームセンターで材料を買うことができ、費用も産科バンドを除き3000円程度と安価。

使用方法：使い方は写真のとおり。子牛の足に産科バンドを装着後、荷締めベルトを引き、ソケットに子牛の足を密着させる。整復棒を子宮内に押し入れつつ、T字継手を子宮の捻転と逆方向に向かって捻り整復した後、助産を行う。

また、産科バンドを水槽のフロートに変え、子宮脱の整復棒としても使用可能。子宮と接する部分を直検手袋で覆い、反転した子宮先端にあてがい、陰部から挿入棒を保持しながら周囲の子宮を還納していくことが可能。

捻転時に子牛に産科バンドが装着可

能なら、前肢・後肢・生死を問わず整復することができた。また、子牛の骨折などの継発事故もみられなかった。

販売品より安価に、子牛の骨折などを防ぎ、母体の予後向上に役立つ難産介助ができた。分娩事故減少の一助にしたい。

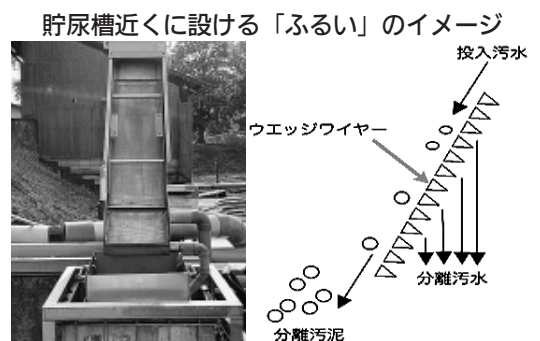


図・写真ともにNOSA I北海道石狩支所南部家畜診療所の資料から

養豚の汚水対策技術情報 開拓豚友の会研修会から③

全開連主催の「開拓豚友の会」で最後に発表された養豚に役立つ技術を紹介する。畜産排水の要件は年々厳しくなっており、適切な対応が求められる。

紹介された技術の中でも、「ふるい」は「オゾン脱色」などの他の先進技術と比べて低コストで導入でき、既存の施設に約50万円程度で設置することができる。貯尿層の近くに設置し、搬出されたふん尿を分離して負荷を下げ、曝気槽を増築せずに排水中のふん成分を低減することができる。分離された固形の残さは毎日回収し、堆肥と一緒に発酵処理



佐賀県畜産試験場の資料から

が必要となる。

また、増頭などで処理能力が不足していないか、BOD容積付加の計算を行い、曝気槽の能力を足すことも検討する。自分の養豚場に合った規模で、十分な対応策を講じていきたい。

乳用種で発動続く 牛マルキン4月分

農畜産業振興機構は、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価(23年4月分、概算払い)を公表した。乳用種で標準的販売価格が標準的生産費を下回ったため、交付が行われる。肉専用種は18道県で発動した。

交付金単価(1頭当たり)は、乳用種が3万9469.7円(前月は5万6792.7円、確定値)となっている。

前月分と比べると、乳用種は生産費がほぼ変動しなかったが、標準的販売価格が上昇したことと概算払いのため交付金は減額となった。



乳用種・交雑種で発動 牛マルキン5月分

農畜産業振興機構は7月11日、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の23年5月分の交付金単価(概算払い)を公表した。乳用・交雑種で標準的販売価格が標準的生産費を下回ったため、引き続き交付が行われる。肉専用種は39都道府県で発動した。

交付金単価(1頭当たり)は、乳用種が4万943円、交雑種は9733.7円となっている。

前月分と比べると、交雑種は販売価格の低下に加え畜費などが値上がりしているため交付が行われる。一方、乳用種は販売価格が上昇したものの、飼料費なども値上がりしているため交付金は増額となった。

乳用牛への黒毛和種交配42.7%に上昇 性選別利用割合も増加傾向

(一社)日本家畜人工授精師協会は6月30日、23年第1四半期(1~3月期)の「乳用牛への黒毛和種の交配状況について(速報)」を公表した(下表)。黒毛和種の交配割合は、前期、

これまで続いていた増加傾向が減少に転じたが、再び増加に転じた形だ。

なお、性選別精液(乳用雌)の利用割合(全国平均)は20.7%(0.9ポイント増、2.5ポイント増)と、二期連続で増加した。

地域	延べ人工授精頭数	黒毛和種授精数	黒毛和種の割合(%)	黒毛和種交配割合前期比(%)	黒毛和種交配割合前年同期比(%)
北海道	221,400	67,708	30.6	0.5	1.8
東北	7,476	3,291	44.0	1.0	3.7
関東	15,366	9,034	58.8	0.6	4.0
東海	5,265	3,593	68.2	9.5	10.9
北陸	1,030	613	59.5	▲5.2	8.5
近畿	4,080	2,789	68.4	▲2.1	4.4
中四国	3,598	2,525	70.2	1.6	5.6
九州	5,484	3,808	69.4	▲1.2	4.1
都府県	42,299	25,653	57.9	0.8	4.9
全国	263,699	93,361	42.7	0.6	3.2

(一社)日本家畜人工授精師協会の資料から作成

牛枝肉

物価高の影響で消費者の牛肉離れが加速

6月は荷動きが少なく、低調な展開となった。物価の値上がりで消費者の牛肉離れ(ぜいたく品として)が浸透しているよう。

輸入は前年より少なくなる見込み。

一方、7月の出荷頭数は全品種で前年同月を上回り、6月と比べてもやや増加する見込み。

【乳去勢】6月の東京食肉市場の乳牛去勢B2の税込み枝肉平均単価(速報値)は、980円(前年同月比90%)となり、前月より37円上げた。交雑より手ごろ感があつた様子。

【F1去勢】6月の東京食肉市場の交雑種去勢税込み枝肉平均単価は、B3が1470円(97%)、B2が1265円(93%)だった。前月に比べ、B3は

35円、B2は72円いずれも下落した。

【和去勢】6月の東京食肉市場の和牛去勢の税込み枝肉平均単価はA4が2196円(92%)、A3が1962円(91%)だった。前月に比べ、A4が39円、A3は46円それぞれ下がった。

【輸入量】農畜産業振興機構は7月の輸入量を総量で4万5800t(前年同月比88%)と予測。内訳は、冷蔵品1万8100t(93%)、冷凍品が2万7700t(85%)。冷蔵品は、米国産が現地価格の高騰により、前年を下回るとみられる。冷凍品は、主要国である豪州産、米国産が下回るので、前年同月を大幅に下回ると予測した。

相場が停滞する時期で、出荷頭数も多くなるので、相場は軟調が続くそう。

市場関係者によると、外国人観光客は増えているが、インバウンド需要は思ったほど伸びておらず、牛肉まで届

いていない様子。

これから夏本番を迎え本格的な焼肉シーズンとなり、日本が活気づくことを期待するが、今のところ盆向けのオフアームも少ないので、大きな相場上昇はあまり望めない。

向こう1ヵ月の東京市場の税込み枝肉平均単価は、乳去勢B2が950~1000円、F1去勢B4が1550~1600円、同B3が1450~1500円、同B2が1250~1300円、和牛去勢A4が2150~2250円、同A3が1950~2050円での相場展開か。

豚枝肉

相場がピークの時期で、強もちあいが続く

6月の東京食肉市場の豚枝肉税込み平均単価は、上物が700円(前年同月比107%)、中物は688円(109%)となった。前月に比べそれぞれ57円、58円上がった。

7月に入っても上物は700円台をキープしており、高止まりの状況となっている。等外でも600円に迫る勢いで推

移している。

農水省の肉豚生産出荷予測によると、7月は129万4000頭(前年同月比104%)とやや増加傾向にあるが、前月と比べると、2万5000頭減の見込み。今後も例年通り出荷頭数は減少傾向となる。

農畜産業振興機構の需給予測によると、7月の輸入量は総量で8万800t(前年同月比97%)の見込み。冷蔵品3万2000

畜産物需給見通し

t(104%)、冷凍品4万8800t(94%)。冷蔵品は国産品の高騰による代替需要等で増加見込み。

ここ数年、高値のピークが7月であり、出荷頭数は9月まで増えないとみられ、輸入量も前年を下回ることから、引き続き相場は強もちあいで推移しそう。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み平均枝肉単価は、上物が680~730円、中物は650~700円で推移か。

6月の子牛取引状況

(頭、kg、円)

ブロック	品種	頭数		重量		1頭当たり金額		円/kg	
		当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
北海道	乳去	702	731	319	320	184,640	178,012	579	556
	F1去	2,329	2,439	343	345	327,264	331,174	954	960
	和去	2,514	2,616	337	337	681,545	740,576	2,022	2,198
東北	乳去	4	1	338	147	115,775	8,800	343	60
	F1去	5	3	308	337	190,960	257,033	620	763
	和去	2,824	2,596	329	327	593,291	605,829	1,804	1,854
関東	乳去	68	21	314	262	286,340	254,257	912	970
	F1去	178	160	347	360	352,383	352,262	1,017	977
	和去	1,004	724	320	332	661,240	671,328	2,069	2,023
北陸	乳去	0	0	-	-	-	-	-	-
	F1去	0	0	-	-	-	-	-	-
	和去	175	0	298	-	552,973	-	1,857	-
東海	乳去	3	0	257	-	150,333	-	585	-
	F1去	89	63	327	337	329,592	338,014	1,009	1,004
	和去	207	451	278	286	571,729	680,873	2,058	2,381
近畿	乳去	0	0	-	-	-	-	-	-
	F1去	0	0	-	-	-	-	-	-
	和去	251	430	277	260	794,459	761,507	2,870	2,929
中四国	乳去	91	65	277	282	141,066	145,048	508	514
	F1去	265	286	331	332	357,994	355,392	1,082	1,069
	和去	894	638	310	313	598,684	609,233	1,932	1,948
九州・沖縄	乳去	11	17	319	327	171,200	138,535	537	424
	F1去	469	436	338	338	370,240	364,995	1,097	1,081
	和去	8,869	11,103	305	303	603,413	615,287	1,976	2,032
全国	乳去	879	835	314	316	187,298	176,357	596	558
	F1去	3,335	3,387	341	344	336,948	338,630	988	984
	和去	16,738	18,559	314	311	618,602	638,580	1,970	2,053

注:(独)農畜産業振興機構(alic)の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。-は上場がなかったことを示す。関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。

素牛 スモール

牛肉価格が低調で和子牛価格が大幅下落

【スモール】6月の全国24市場の1頭当たり税込み平均価格(農畜産業振興機構調べ、月末の取引結果を除く暫定値)は、乳雄が7万6121円(前年同月比65%)、F1(雄雌含む)は13万9965円(75%)となった。前月に比べ、乳雄6731円、F1が1万6625円の上げとなった。

関東では、乳雄で10万円を超えている市場があり、頭数が少ないこともあり上昇は続きそう。1年前ほどには上がっていないが、これ以上上昇すると、肥育農家の負担が大きくなってくる。

【乳素牛】6月の乳素牛の全国1頭

当たり税込み平均価格(左表、月末の取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が18万7298円(前年同月比91%)、F1去勢は33万6948円(96%)だった。前月に比べ乳去勢は1万941円上げ、F1去勢は1682円下げた。

肉牛相場が低調で、特にF1は肥育農家の導入意欲が抑えられているよう。

【和子牛】6月の和子牛去勢の全国1頭当たり税込み平均価格(同)は、61万8602円(前年同月比88%)となった。前月に比べ、1万9978円下げた。

和子牛の価格が急降下している。牛枝肉相場が低調で、肥育農家の素牛導入にブレーキがかかっている。

今後も牛肉相場の上昇があまり見込めないことから、下落が続きそう。

アンケートにご協力をお願いします

開拓情報をより多くの方に楽しく読んでいただけるよう、皆さまのご意見を募集します。
読者の皆さまの率直なご意見をお待ちしています。



アンケートは、上のQRコードを読み込むかURLからアクセスしてご回答ください。
FAXまたは郵送で回答される場合は、右の用紙を切り取ってご利用ください。

URL : <https://forms.gle/FZu8HassungqCEXqx5>

〈FAX〉
03-6268-9996
住所は本紙1面の右上部分に記載しております。
開拓情報部宛てにお送りください。



回答待ってます!

—お知らせ—
畜産物需給見通しは、今月に限り7面に掲載しております。

開拓情報アンケート

下記アンケートにご協力ください。
該当する選択肢に○をつけてください。

アンケート送付先
全国開拓振興協会
FAX:03-6268-9996

●ご回答者様情報

ご職業	1. 生産者 (耕種・畜産) 2. 農業団体等関係者 3. 行政関係者 4. その他
-----	---

●紙面の見栄えについて

文字の大きさ	1. ちょうどよい 2. 大きい 3. 小さい
紙面について	1. 普通 2. 読みやすい 3. 読みにくい
(読みにくいを選択された方のみ回答) ※当てはまるものをすべて選択。	1. 文字が多すぎて圧迫感がある 2. 記事が多すぎる 3. 写真・図が少なくわかりにくい 4. カラーがない 5. 文字が小さい 6. その他 ()
紙面の大きさ	1. 現状がよい 2. A4判がよい 3. 新聞サイズがよい
ページ数(8ページ)について	1. ちょうどよい 2. 多い 3. 少ない

●内容について

内容への興味	1. 興味深い内容が多い 2. 興味深い内容が少ない 3. その他 ()
見たい記事について ※当てはまるものをすべて選択	1. 開拓の歴史について 2. 開拓地の話題について 3. 開拓組織の活動 4. 開拓者(家族含む)の活動 5. 農業全般 6. 相場情報 7. 市場トレンド 8. 開拓農協職員の声 9. 読者の声 10. レシピ紹介 11. 季節の便り 12. 流行の話題 13. 4コマ漫画 14. クイズ 15. その他 ()
(農業全般の記事についてを選択された方へ。どの業種についてでしょうか)	※当てはまるものをすべて選択 1. 肉用牛 2. 酪農 3. 養豚 4. その他畜産 5. 稲作 6. 畑作 7. 果樹 8. お茶 9. その他 ()

その他、ご意見ご要望ご感想などあればお聞かせください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。